

NPO・LSCS 研の活動の案内

- 最高顧問 : 花嶋 正孝
- 理事長 : 古市 徹
- 会員数 : 個人会員 45 名 団体会員 52 団体(平成 22 年 4 月 1 日現在)
学識者、建設、シート等の遮水工メーカー、コンサルタント、水処理等、最終処分場及び最終処分システムに係る個人・団体の横断的な組織です。
- NPO 認証 : 平成 13 年 10 月 18 日(府国・第 1185 号)
(平成 6 年 4 月 前身の「最終処分場技術システム研究会」設立、
平成 21 年 4 月 クローズドシステム処分場開発研究会を統合)
- 設立目的等: 地域に信頼される安心・安全な最終処分場を目指し、そのための最終処分場技術システムの研究及び普及啓発に関する事業を行い、地域環境の保全、国民生活の向上に寄与することを目的としています。
- 活動の内容: 特定非営利活動に係る事業として、最終処分場技術システムの①普及啓発、②研究、③国際交流、④関心のある団体への助言・援助活動、その他事業として、①受託研究、②技術指導等を実施しています。
- 研究テーマ: 平成 21 年度から 22 年度の 2 ヶ年を研究期間として、4 グループで以下の 8 テーマの研究を実施。
 - A. システム研究グループ
 - ① 国内の最終処分場のシステムに関する研究
 - ② CS 処分場の多様性に関する研究
 - ③ 海外の最終処分場に関する研究
 - B. 処分場研究グループ
 - ① オープン型最終処分場の土木施設の研究
 - ② 水処理施設の研究
 - C. CS 処分場研究グループ
 - ① 安定化、廃止に関する研究
 - ② CS 処分場の内部環境に関する研究
 - ③ CS 処分場の詳細設計事例に関する研究
 - D. 受託研究 & 外部委員会等
 - ①(財)産業廃棄物処理事業振興財団の委員会

受託のご相談は、以下にお願いします。



特定非営利活動法人
最終処分場技術システム研究協会
(略称:NPO・LSCS 研) 受託委員会

事務局 〒108-0074 東京都港区高輪3-23-14 シャトー高輪401号室
TEL 03-3280-5970 FAX 03-3280-5973
E-mail lsa@bd6.so-net.ne.jp URL <http://www.npo-lsa.jp/>

受託研究のご案内



安全・安心な最終処分場をめざして



特定非営利活動法人
最終処分場技術システム研究協会
(略称:NPO・LSCS 研) 受託委員会

はじめに

NPO・LSCS 研は、社会の要請に応え、安全・安心で地域に信頼される最終処分場をめざしています。

特定非営利活動では、各種ハード、ソフトの研究を積極的に行い、その成果をシンポジウム、ホームページ、パンフレットなどで情報の提供を行っています。

その他事業では、各関係先から受託研究において、第三者機関として期待に応えていきます。

これらの事業の内容と組織は、以下のとおりです。

特定非営利活動事業

- ① 最終処分場技術システムの普及啓発に係る事業
- ② 最終処分場技術システムの研究に係る事業
- ③ 最終処分場技術システムに関する国際交流に係る事業
- ④ 最終処分場技術システムに関する助言・援助に係る事業

その他事業(受託研究等)

- ① 民間企業・団体などからの受託研究
- ② 最終処分場技術システムの適用に係る技術相談
- ③ 最終処分場の機能検査

受託研究等の具体的内容例

受託研究等の具体的な内容例は、以下のとおりです。

- 最終処分場技術システムの適用に係る各種技術評価、実験的研究
- 最終処分場における遮水システムに係る各種技術評価、実験的研究
- 最終処分場における浸出水システムに係る各種技術評価、実験的研究
- 最終処分場における遮水性能など各種施設の安全性評価などに係る技術指導、研究
- 既設最終処分場の適正化に係る技術指導、研究
- 被覆型最終処分場の適用に係る技術指導、研究
- 海外最終処分場における埋立構造など技術システムの適用に係る技術指導、研究
- 最終処分場計画、調査、設計、施工に関する各種検討会、委員会などにおける第三者機関としての技術相談、参画
- オープン型・被覆型最終処分場の機能検査(簡易検査、定期検査)
- 浸出水処理施設の機能検査(簡易検査、定期検査) など



研究助成事業、自主研究の具体例

研究先	研究名	研究内容
大阪湾広域臨海環境整備センター	「大阪湾広域における廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究助成事業」 水面埋立地に敷設される遮水工の変形挙動評価に関する研究(その2)	水面埋立地に敷設される遮水シートは、海底地盤の沈下により、護岸周辺部と底面部では大きく沈下量に差が生じる。現状の設計では、間隔数mの要素に分割してFEM解析による沈下変形予測を実施して安全性を確認していることが判明した。しかし、数m間隔で遮水シートが均一にひずむと仮定している現状解析モデルでは実際の遮水シートの挙動を十分再現できていない可能性があることが危惧された。そこで、水面埋立地を模擬した大規模沈下実験を行い、地盤の沈下に伴う遮水シートの変形挙動を把握した。結果として、護岸直近部において、大きなひずみが生じることが確認された。
(株)青森クリーン	産業廃棄物最終処分場機能検査	最終処分場機能簡易検査として、①オープン型最終処分場簡易検査、②浸出水処理施設簡易検査、③不具合是正の提案を行った。



基盤沈下大規模模擬実験状況



貯留構造物の簡易機能検査状況

おもな受託研究、自主研究、研究助成事業対象研究の実績

No.	研究期間	研究先	研究名
1	(自)平成13年12月20日 (至)平成14年3月29日	さいたま市 ^{※1}	一般廃棄物処分場(間宮埋立完了地)に係る調査及び基本計画等策定業務
2	(自)平成15年10月18日 (至)平成15年12月26日	環境事業団 ^{※1} (現 環境再生保全機構)	最終処分場の遮水シート補修方法案作成業務
3	(自)平成19年2月7日 (至)平成19年3月12日	太平興産(株) ^{※1}	大塚山処分場漏水対策に関するコメント作成業務
4	(自)平成19年11月1日 (至)平成19年11月30日	(株)青森クリーン ^{※2}	産業廃棄物最終処分場機能検査
5	(自)平成19年12月11日 (至)平成19年3月31日	大阪湾広域臨海環境整備センター ^{※3}	「大阪湾広域における廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究助成事業」 水面埋立地に敷設される遮水工の変形挙動評価に関する調査(190002)
6	(自)平成20年7月15日 (至)平成21年3月10日	大阪湾広域臨海環境整備センター ^{※3}	「大阪湾広域における廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究助成事業」 水面埋立地に敷設される遮水工の変形挙動評価に関する研究(その2)(200004)

※1: 受託研究
 ※2: 自主研究
 ※3: 研究助成事業対象の研究

